



# 創業50周年記念特別企画

ネパール・ヒマラヤ

vol.18



クーンブル山群の名峰アマダブラム (6,812m) を正面にエベレスト街道を歩く (Bコース)



ガンドルンの最高級ロッジからのアンナプルナ・サウス (7,219m) (Aコース)

## ご参加者の皆様へプレゼント!

本パンフレットに掲載された全4コース・4出発日にご参加の皆様は、光電子製アルパインツアーロゴ入りオリジナルネックウォーマーをプレゼントします。

**光電子®**  
KODENSHI

自分の体温を身体に戻す  
高機能繊維。



Point.1 自然なあたたかさが持続

Point.2 ドライで快適

Point.3 「加湿」ではなく「保温」

創業50周年特別企画の第18弾は、  
 1971年から企画したネパール・ヒマラヤ・トレッキングです。  
 ネパールでのトレッキングは今からおよそ60年前、鎖国を解いたネパールで、  
 イギリス人が山岳民族のシェルパ族を道案内と荷物運搬人として雇い、  
 山歩きの始まりです。  
 現在のネパール・ヒマラヤ山中は、飛躍的に設備が整った最高級ロッジが増え、  
 以前とは比べ物にならないくらい快適なロッジライフを楽しみながら、  
 歩くスタイルも主流になってきました。  
 創業50周年にふさわしい快適なロッジ(ホテル)に宿泊する4コースを  
 ご用意しました。  
 ぜひ魅力あふれる新しいネパール・トレッキングをお楽しみください。

## 静かなトレッキングと アンナプルナ南壁を仰ぐ

**Aコース：最高級ロッジでめぐるアンナプルナ山群  
 展望トレッキングと憧れの南壁ヘリ・フライト 9日間**



鈴木 謙介  
(すずき けんすけ)

アンナプルナ山麓に建つ最高級ロッジを利用して訪れるトレッカーの数も少なく、高山病の心配の少ない低所を歩くゆったりコースです。ロッジには、ベッドや温水シャワー設備を備えており、とても快適に過ごせます。壮大なアンナプルナ南壁を仰ぎ見る内院核心部へのヘリ着陸はまさに圧巻です。



▲ダンブスのロッジ前から望むマチャブチャレ (6,993m)



▲清潔で快適なロッジのお部屋

## 世界最高峰の展望を 最高級のロッジで

**Bコース：最高級ロッジでめぐるエベレスト展望  
 ヘリ・トレッキング 9日間**



小林 博史  
(こばやし ひろふみ)

最高級ロッジに泊まりながら、世界最高峰を望む優雅な山旅です。トレッキングの最後は、ヘリコプターで絶景地のコンデへと飛び、大展望を望みながら朝食を楽しんだ後、ルクラへヘリで下ります。ナムチェのロッジは、すり鉢上の最上部に位置するため、大展望スポットまでわずかな距離で行くことができます。



▲ナムチェの最高級ロッジとタムセルク (6,623m)

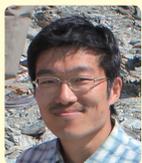


▲エベレストを見ながらの朝食



## チベットの風景と迫力の ダウラギリを望む

**Cコース：最高級ホテルとロッジでめぐる  
カリガンダキ渓谷ハイキング 10日間**



久保 典彦  
(東京本社)

8月中旬に新しくオープンするジョムソンの高級山岳ホテルとダウラギリ峰とニルギリ連峰の雄姿を同時に望む絶景の地ナウリコットに建つ最高級ロッジにそれぞれ2連泊し毎日周辺のハイキングを楽しみます。チベットの風景が広がるカリガンダキ渓谷の上部は他のネパール・ヒマラヤのトレッキングとは異なる景観が展開します。



▲ムクチナートからのダウラギリ峰 (8,167m)



▲ナウリコットの絶景ロッジとニルギリ連峰

## ネパールの奥地にある 秘境アッパー・ムスタンへ

**Dコース：四輪駆動車で行く憧れの王都ローマンタン  
探訪とジョムソン高級ホテル 10日間**



山田 勝  
(東京本社)

その昔、「禁断のヒマラヤの王国」として知られた秘境ムスタンの王都ローマンタン。かつては往復10日間のトレッキングで訪れていた場所ですが、現在は、道路が延伸されて、ジョムソンから四輪駆動車でわずか1日で行けるようになりました。他のネパール・ヒマラヤとはまったく異なる景観と独特の文化が魅力です。



▲荒涼とした大地が広がるアッパー・ムスタン



▲カグベニ手前より望むダウラギリ峰 (左8,167m)

名峰アンナプルナの展望と憧れのアンナプルナ内院へのヘリ・フライト



# 最高級ロッジでめぐるアンナプルナ山群 展望トレッキングと南壁ヘリ・フライト 9日間

アンナプルナ山麓に建つ最高級のロッジ・グループを利用して、生活面でのストレスを最小限に、高山病の心配がない標高1,000mから2,000mの低所をゆったりトレッキングします。帰路はガンドルンからヘリコプターでアンナプルナ山群の核心部、アンナプルナBCを訪問し、絶景を堪能した後、ポカラに戻ります。



▲標高差約4,000mの迫力で仰ぎ見るアンナプルナ南壁の雄姿(6日目)



▲ロッジ前の専用庭で贅沢な朝食(6日目)

## アンナプルナ山麓の最高級ロッジ

このコースでご宿泊いただくロッジ・グループはアンナプルナ山麓に6軒を数え、すでに日本では当社の、そして欧米人トレッカーの定評を得ています。ロッジはいずれもゆったりとした専用庭、広々とした食堂と美味しい食事、現地の伝統的な家屋の雰囲気を保ちつつも、ゆったりとしたベッド、専用のトイレ、温水シャワー設備を備え、生活面でのストレスを最小限にヒマラヤ・トレッキングをお楽しみいただけます。ロッジはいずれもメインのトレッキングコースから外れている場所に建つため、人気のアンナプルナ山群にあって、とても静かなトレッキングが楽しむことができるのも大きな魅力のひとつです。



▲ランドルンの最高級ロッジ外観(4日目)



▲広々とした各部屋専用のシャワーとトイレ



▲最高級ロッジの部屋(ガンドルン)



▲伝統的な家屋の雰囲気を残す最高級ロッジの外観(5日目)

## ヘリ・フライトで氷雪峰を仰ぐ ヒマラヤの円形劇場へ

アンナプルナ山群のふところ深くに位置するアンナプルナ内院は、標高4,130m、ほぼ360度をヒマラヤの高峰に囲まれた別天地です。アンナプルナI峰(8,091m)の雄大な南壁をはじめ、アンナプルナ・サウスや、ヒマラヤひだ美しいガンダルバチュリ(別名：ガーベルホルン)やアンナプルナIII峰、マチャブチャレ峰の北面などアンナプルナ山群の核心部を間近に仰望できることでトレッカーに絶大な人気を誇ります。通常のトレッキングでは片道5日間ほどかけて、ようやく辿りつけるトレッカー憧れの場所ですが、このコースでは、ヘリコプターを特別にチャーターし、ガンドルンの村から、狭いモディ渓谷を飛び越えて、アンナプルナBCに着陸して展望を堪能する特別企画です。



▲ガンドルンよりアンナプルナ内院へヘリでひとっ飛び(6日目)



▲ロッジ前の専用庭での贅沢な朝食、左からマチャブチュレ、アンナプルナIV峰とII峰(4日目)

**発着地** 東京・大阪・名古屋・福岡

**歩行時間** **宿泊高度** **宿泊施設**

出発日～帰国日	旅行代金
11/23(土)～12/1(日)	¥428,000

- 燃油サーチャージ(2019年6月20日現在:目安約18,000円～26,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ビザ=ネパール/申請料(東京7,320円/大阪7,620円)=実費(東京3,000円/大阪3,300円)+申請料4,320円(2019年6月現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー(添乗員):カトマンズからカトマンズまで同行します。添乗員は同行しませんが、出発日と発着地によってはツアーリーダーが全行程同行します。
- 最少催行人数:12人 ●食事:朝7回、昼7回、夕6回
- 利用予定ホテル:Aクラス以上。P.11掲載のホテルリストをご参照ください。
- 一人部屋利用追加料金:¥68,000(ダンプスのロッジ泊を除く)
- 利用予定航空会社:キャセイ・パシフィック航空、キャセイドラゴン航空、日本航空、全日空、大韓航空、香港エクスプレス

※トレッキング:現地ガイド、ポーターが同行。コックは同行しません。  
 ※行動範囲:1,440m～4,130m、最高宿泊地2,070m、高山病の影響ややあり。

※ガンドルン～アンナプルナBC～ガンドルンのヘリコプター便は天候条件や機材その他の現地事情により予定通りに飛べないことがあります。フライトがキャンセルになった場合の差額はご帰国後に精算させていただきます。

**A 厳選ロッジでいく** 厳選ロッジに宿泊するコースです。トレッキング中の食事は、ロッジ提供のものになります。当社専属のコックは同行しません。



▲ダンプス周辺より望むマチャブチュレ(3日目)



▲ポインセチアとマチャブチュレ(左)



▲ランドルン周辺の見事な段々畑(4日目)



▲山麓に暮らす小学生の子供たち

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	各地発着 カトマンズ	午前、東京・大阪・名古屋・福岡発→アジア経由都市で乗り継ぎ、深夜、ネパールの首都カトマンズへ。 ☞着後、カトマンズのホテルへ。 【カトマンズ泊】
2	カトマンズ発着 ポカラ	朝、☞空港へ。午前、→国内線でポカラへ。天候が良ければ右側機窓からはランタン山群やマナスル山群の大パノラマが望めます。着後、ホテルへ。午後、アンナプルナ山群を一望にする湖畔の街ポカラでゆっくりお過ごしください。  【ポカラ泊】
3	ポカラ発着/発 フェディ	午前、☞専用車でフェディ(1,440m)へ(約1.5時間)。トレッキング・ガイドやポーターと合流し、トレッキング開始。 ☞森の中につけられた急なトレイルを登り、アンナプルナ山群を一望にする好展望地ダンプス(1,700m)へ(徒歩約2時間)。  【ダンプス泊】
4	ダンプス発着 ランドルン	☞ダンプスより好展望のポタナ(1,890m)を経て、ネパールの典型的な山村風景が残るトレイルを、好展望のランドルン(1,640m)へ(徒歩約6時間)。  【ランドルン泊】
5	ランドルン発着 トレッキング3日目 ガンドルン	☞ランドルン村より、アンナプルナ内院を源流に流れる峡谷モディコーラ(1,320m)へと下り、ゆっくりと標高差630mを登り、グルン族の村ガンドルン(1,950m)の上部に建つロッジ(2,070m)へ(徒歩約5時間)。ロッジからはアンナプルナ・サウスがひときわ大きく眺められます。  【ガンドルン泊】
6	ガンドルン発着 ポカラ	朝、ガンドルンのヘリ・ポートへ。☞ガンドルンより、ヘリコプター特別便で、アンナプルナ山群のまっただ中、“円形劇場”という言葉がふさわしいアンナプルナ内院のアンナプルナBC(4,130m)へ。標高差約4,000mもの迫力でそびえ立つアンナプルナ南壁などを間近に仰ぎ見た後、☞ガンドルンへ戻ります。その後、☞ガンドルン周辺(1,690m)へ下ります(40分)。☞専用車でポカラへ(約3時間)。  【ポカラ泊】
7	ポカラ発着 カトマンズ	午前→国内線でカトマンズへ(約30分)。 午後、カトマンズ半日市内観光をお楽しみください。夕食はカトマンズ・ナイトをお楽しみください。  【カトマンズ泊】
8	カトマンズ発着 バクタプール市内観光	午前、ホテルでゆったりお過ごしください。または <b>オプションツアー</b> でヒマラヤ遊覧飛行をお楽しみください。午後、 <b>バクタプール市内観光</b> 。夕刻、カトマンズ空港へ。夜→カトマンズ発、アジア経由都市へ。  【機中泊】
9	各地着	朝、アジア経由都市で乗り継いで東京・大阪・名古屋・福岡へ。午後、東京・大阪・名古屋・福岡着。

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



▲ポタナ付近を歩く左からアンナプルナIV峰(7,525m)、II峰(7,937m)、ラムジュンヒマール(6,983m)

往きはトレッキング、帰りはヘリ。コンパクトな日程で世界最高峰を展望



# 最高級ロッジでめぐるエベレスト展望 ヘリ・トレッキング 9日間

世界最高峰エベレストが聳えるネパール・ヒマラヤでトレッキングを楽しみます。エベレスト街道沿いの最高級ロッジに泊まりながら、往路はゆっくりトレッキングでナムチェへ。復路はヘリコプターで絶景地のコンデへと飛び大展望をのぞみながら朝食を楽しみ、その後再びヘリでルクラへと下ります。全食事付き。



▲コンデ・ロッジから望む大パノラマ、左よりエベレスト、ローツェ、アマダブラム (6日目)



▲帰路はヘリコプターで下山 (6日目)

## このコースで宿泊するクーンブ山群で最高級のロッジ

YMHはロッジ・チェーンYeti Mountain Homeの略号です。

### —— YMHルクラ (2,860m) ——

エベレスト街道トレッキングの玄関口ルクラに建つロッジです。伝統的なクーンブ地方の建築様式を生かしつつも整った近代設備は快適なトレッキングのスタートを約束してくれるでしょう。重厚な装飾のダイニングや広々とした専用庭が好評です。



▲広々とした専用庭がうれしいルクラのロッジ

### —— YMHモンジョ (2,850m) ——

ドゥードゥ・コシ沿いの小さな村モンジョに建つロッジです。モンジョはナムチェまで半日の距離にあることもあり、この村に宿泊するトレッカーは少なく、トレッキングのピークシーズンにも静かな環境が得られるのも魅力です。一番新しいロッジになります。



▲静かな環境に建つモンジョのロッジ

### —— YMHナムチェ (3,440m) ——

シェルパ族の中心の村ナムチェ村に建つロッジです。すり鉢状に広がるナムチェの村の最上部に位置するため、ロッジからわずか徒歩15分ほどで、エベレストやローツェ、アマダブラムなどの大展望が得られるスポットへ行くことができます。



▲シェルパ族の伝統的家屋のテイストを残した部屋



▲重厚な装飾のダイニングルーム



▲こざいなダイニングルーム



▲ナムチェ村の上部にあるロッジ、背後はタムセルク峰 (6,623m)



▲ナムチェの村はずれから望むタムセルク(6,623m)

**発着地** 東京・大阪・名古屋・福岡

**歩行時間** **宿泊高度** **宿泊施設**

出発日～帰国日	旅行代金
11/23(土)～12/1(日)	¥462,000

- 燃料サーチャージ(2019年6月20日現在:目安約18,000円～26,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ビザ=ネパール/申請料金(東京7,320円/大阪7,620円)=実費(東京3,000円/大阪3,300円)+申請料金4,320円(2019年6月現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー(添乗員):カトマンズからカトマンズまで同行します。発着地によってはツアーリーダーが全行程同行します。 ●最少催行人数:10人
- 食事:朝7回、昼7回、夕6回 ●利用予定ホテル:Aクラス以上。P.11掲載のホテルリストをご参照ください。 ●一人部屋利用追加料金:¥78,000(ロッジ泊を含む)
- 利用予定航空会社:大韓航空、キャセイパシフィック航空、日本航空、キャセイドラゴン航空、全日空、マレーシア航空、香港エクスプレス

※トレッキング:現地ガイド、ポーターが同行。コックは同行しません。  
 ※行動範囲:2,610m～4,250m、最高宿泊地3,440m、高山病の影響やあり。

**A 厳選ロッジでいく** 厳選ロッジに宿泊するコースです。トレッキング中の食事は、ロッジ提供のものになります。当社専属のコックは同行しません。

※カトマンズ～ルクラ間の航空路線は、山岳地帯を飛ぶ定期航空便を利用します。天候条件や機材、その他の現地事情により、遅延やフライトのキャンセルなど、予定通りに飛べないことがあります。天候不順等の理由により、日程変更になる場合に新たに生じた費用につきましてはすべてお客様のご負担となります。また、定期航空便で飛べない場合には代替として小型ヘリコプターを利用することがありますが、その際にかかる利用航空機費用の差額はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。  
 ※ナムチェからのヘリコプターは天候等の理由により飛べないことがあります。ヘリコプターが飛べないことによる日程の変更に関わる費用の差額はお客様のご負担となります。

## エベレスト街道沿いに整備された山群で最高級のロッジをつないで歩く

このコースは、エベレスト山麓の要所要所に整備されたクーンブ山群で最高級のロッジ・グループに宿泊して、憧れの世界最高峰などを展望するトレッキングを楽しめます。各ロッジはどれも電気照明設備はもちろん、ゆったりとした専用庭、広々と快適なダイニングを備え、現地の高地民族シェルパ族の伝統的家屋をモチーフにしながらも、それぞれの部屋には、ゆったりしたベッド、専用の洗面所、トイレ、温水シャワー設備を備えています。トレッキングの最後にヘリコプターで訪れる天上の展望地に建つコンデ・ロッジでの朝食も、忘れられない旅の思い出のひとつとなることでしょう。



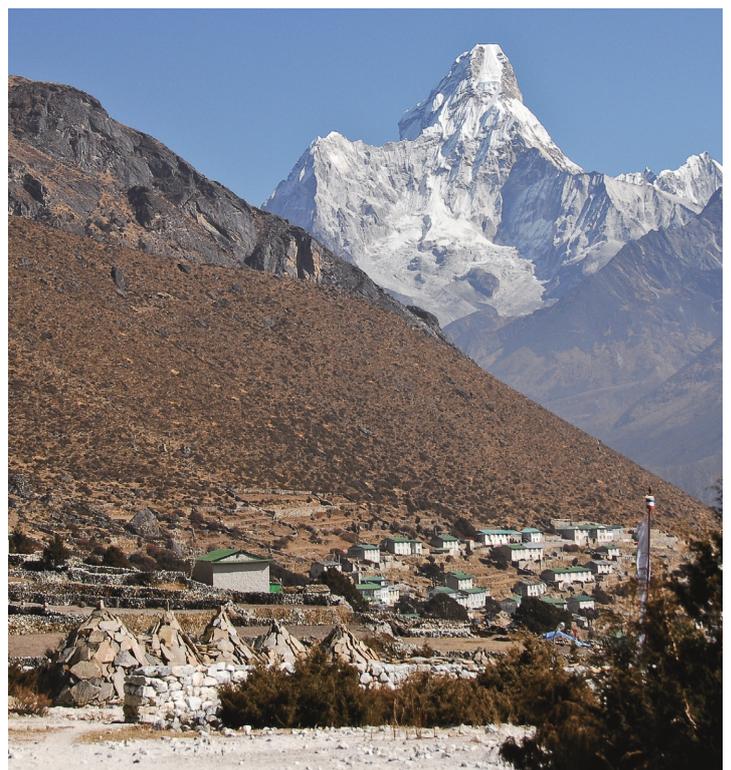
▲コンデ・ロッジでの朝食風景(6日目)



▲すり鉢状の斜面に広がるナムチェの村

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	各地発 カトマンズ着	午前、東京・大阪・名古屋・福岡発→アジア経由都市で乗り継ぎ、深夜、ネパールのカトマンズへ。 🛏️着後、カトマンズのホテルへ。 <b>📖【カトマンズ泊】</b>
2	カトマンズ発 ルクラ着	早朝、空港へ。朝、→空路ルクラ(2,840m)へ。着後、翌日からのトレッキングと高所順応のために、周辺の散策などでゆっくりと過ごします。 <b>📖【ルクラ泊】</b>
3	ルクラ発 トレッキング1日目 モンジョ着	朝、シェルパ達とともに、トレッキング開始。🏔️ドゥードゥ・コシ沿いの道をバクディン(2,610m)を経由し、モンジョ(2,835m)へ(徒歩約5時間)。 <b>📖【モンジョ泊】</b>
4	モンジョ発 トレッキング2日目 ナムチェ着	朝、谷沿いの道をジョサレ(2,840m)へとたどり、 <b>世界遺産のサガルマータ(エベレスト)国立公園</b> に入ります。🏔️高度差600mの坂をゆっくり登り、シェルパの里ナムチェ(3,440m)へ(徒歩約4時間)。 <b>📖【ナムチェ泊】</b>
5	ナムチェ滞在 トレッキング3日目 シャンボチェの丘 &クムジュン村	🏔️坂道をゆっくり登り、エベレスト、ローツェ、アマダブラム、タムセルクなどの大パノラマを楽しみながら、シャンボチェの丘(3,880m)へ。伝統的で落ち着いたシェルパ族の村クムジュン(3,780m)をめぐる、ナムチェへ(徒歩約6時間)。 <b>📖【ナムチェ泊】</b>
6	ナムチェ発 トレッキング4日目 エベレスト展望朝食 ルクラ着/発 カトマンズ着	早朝、ナムチェのヘリ・ポートへ。早朝、🚁ナムチェよりヘリコプター特別便でエベレスト山群の大パノラマを一望にするコンデ・ロッジ(4,250m)へ。 <b>エベレスト山群の大パノラマを眺めながらの朝食</b> をお楽しみください。朝食後、再び🚁ヘリコプター特別便でルクラへ下ります。ルクラで国内線に乗り継ぎ→カトマンズへ。 <b>📖【カトマンズ泊】</b>
7	カトマンズ滞在 カトマンズ半日市内観光	カトマンズ滞在。午前、自由行動。午後、 <b>カトマンズ半日市内観光</b> へ。夕食はカトマンズ・ナイトをお楽しみください。 <b>📖【カトマンズ泊】</b>
8	パタン半日市内観光 カトマンズ発	午前、ゆっくりとお過ごしください。午後、 <b>パタン半日市内観光</b> へ。夜、カトマンズ発→アジア経由都市へ。 <b>📖【機中泊】</b>
9	各地着	朝、アジア経由都市で→乗り継いで東京・大阪・名古屋・福岡へ。午後、東京・大阪・名古屋・福岡着。 <b>📖</b>

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



▲シェルパ族の暮らすクムジュン村からのアマダブラム(6,812m)(5日目)

改訂 迫力のダウラギリI峰を間近に望む



# 最高級ホテルとロッジでめぐる カリガンダキ溪谷ハイキング 10日間

8月中旬に新しくオープンするジョムソンの高級山岳ホテルとダウラギリI峰とニルギリ連峰の雄姿を同時に望む絶景の地ナウリコットに建つ最高級ロッジにそれぞれ2連泊し毎日周辺のハイキングを楽しみます。チベットの風景が広がるカリガンダキ溪谷の上部は他のネパール・ヒマラヤのトレッキングとは異なる景観が展開します。



▲ティティガオン周辺からのダウラギリI峰 (8,167m) (4日目)



▲ムクチナートからのダウラギリI峰 (8,167m) (6日目)

## ロッジ滞在型で楽しむ ヒマラヤ山麓ハイキング

ともに8,000m峰を擁するアンナプルナ山群とダウラギリ山群。2つの山群の間を深く断ち割って北から南へ流れるのがカリガンダキ溪谷です。この旅はカリガンダキ峡谷上部にあるジョムソンに軽飛行機で飛び、ジョムソンの高級ホテルをベースに聖地ムクチナート往復やダウラギリやニルギリなどのヒマラヤの氷雪峰を眺めながらのハイキングなどを楽しみます。また、ダウラギリI峰のアイスフォールを間近に仰ぎ見る絶景の最高級ロッジにゆったり2連泊し、ここをベースにアンナプルナやダウラギリ山群を望む絶景のハイキングにでかけます。ジョムソン周辺はヒマラヤの北部にあるため、緑豊かなヒマラヤの南山麓と大きく景観が異なります。最高所の宿泊地が標高約2,700mのため、高山病の影響も小さく、ネパールが初めての方にも2度目以上の方にもおすすめのコースです。



▲アイスフォール展望ロッジとニルギリ三山。左から北峰 (7,061m)、中央峰 (6,940m)、南峰 (6,839m)



▲ティニ村付近より望むダウラギリI峰 (3日目)



▲ムクチナートへの途上にある村とゴンパ



▲マルファ村、平屋根の住居が特徴的



▲マルファ村の白壁の狭い路地を歩く (3日目)



▲ムクチナートの街からのダウラギリI峰 (中央)



▲マルファ村の河口慧海記念館 (3日目)



▲ナウリコットのロッジの専用庭から望むダウラギリI峰とアイスフォール

**発着地** 東京・大阪・名古屋

**歩行時間** **宿泊高度** **宿泊施設**

出発日～帰国日	旅行代金
11/22(金)～12/1(日)	¥438,000

- 燃油サーチャージ(2019年6月20日現在:目安約18,000円～26,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ビザ=ネパール/申請料(東京7,320円/大阪7,620円)=実費(東京3,000円/大阪3,300円)+申請料4,320円(2019年6月現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー(添乗員):カトマンズからカトマンズまで同行してご案内します。発着地によってはツアーリーダーが全行程同行します。
- 最少催行人数:12人 ●食事:朝8回、昼8回、夕7回
- 利用予定ホテル:Aクラス以上。P.11のホテルリストをご参照ください。
- 一人部屋利用追加料金:¥76,000(ロッジ泊を含む)
- 利用予定航空会社:キャセイパシフィック航空、キャセイドラゴン航空、日本航空、全日空、大韓航空、香港エクスプレス

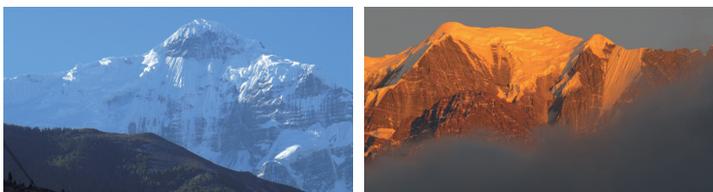
※トレッキング:現地ガイドが同行。コックは同行しません。  
 ※行動範囲:2,550m～3,760m、最高宿泊地:2,713m、高山病の影響ややあり。

**A 厳選ロッジでいく** 厳選ロッジに宿泊するコースです。トレッキング中の食事は、ロッジ提供のものになります。当社専属のコックは同行しません。

※ポカラ～ジョムソン間の路線は、山岳飛行便となります。天候条件や機材その他の現地事情により予定通りに飛べないことがあります。フライトがキャンセルになった場合には、小型車(分乗になります)と専用車(場合によっては一部徒歩)による陸路移動に変更させていただきます。小型車は現地事情により地元住民と混乗となる場合があります。また、陸路移動に変更になったことによる差額はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。



▲ナウリコット村より望むニルギリ連峰



▲ジョムソン周辺より望むニルギリ北峰(7,061m) ▲ナウリコットより望む夕陽に染まるニルギリ中央峰

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	各地 カトマンズ	発着 午前、東京・大阪・名古屋発→アジア経由都市で乗り継ぎ、深夜、ネパールの首都カトマンズ(1,300m)着。 【カトマンズ泊】
2	カトマンズ ポカラ	発着 午前、→空路、アンナプルナ山群を一望にする湖畔の街ポカラ(800m)へ(約40分)。午後、 <b>ポカラ市内観光</b> 。 【ポカラ泊】
3	ポカラ ジョムソン	発着 早朝→山岳飛行定期便にてジョムソン(2,713m)へ(約20分)。★着後、 <b>ティニ村(2,900m)へハイキング</b> 。 <b>ダウラギリI峰(8,167m)とニルギリ北峰(7,061m)、ティリツォピーク(7,134m)を間近に仰ぎます</b> (徒歩約3時間)。小型車に分かれて未舗装の道路をナウリコットに建つ「ロッジ・タサン・ビレッジ(アイスフォール展望ロッジ)」(2,700m)へ(約1.5時間)。途中、河口慧海ゆかりの <b>マルファ村(2,670m)に立ち寄り</b> ます。ロッジからダウラギリI峰とアイスフォールを仰ぎ見る事ができます。 ※ポカラ→ジョムソン間のフライトが飛ばない場合は、陸路、悪路をナウリコットへ(約7時間)。 【ナウリコット泊】
4	ナウリコット	滞在 <b>ティティガオンハイキング</b> 終日、ナウリコット滞在。★ <b>ラルジュン(2,550m)へ下り、カリガンダキ川を吊橋で渡り、コケタンティ(2,595m)を経て、高台にある村ティティガオン(2,850m)へ</b> 。 <b>ダウラギリI峰、ニルギリ、アンナプルナI峰が望めます</b> 。往路を戻ります(徒歩約5時間)。 【ナウリコット泊】
5	ナウリコット ジョムソン	発着 朝★ <b>山上の湖セコン湖(2,725m)までの往復ハイキング</b> 。 <b>ニルギリ連峰の右にアンナプルナI峰(8,091m)やファンク峰(7,647m)の展望を楽しみます</b> (徒歩約4時間)。小型車に分かれて、ジョムソンへ(約1.5時間)。 【ジョムソン泊】
6	ジョムソン	滞在 <b>聖地ムフチナート(3,760m)を訪問</b> します(約3時間)。 <b>ムフチナート周辺で軽い散策(徒歩約30分)</b> 。小型車に分かれて、往路を戻ります(約3時間)。 【ジョムソン泊】
7	ジョムソン ポカラ	発着 朝→山岳飛行定期便にてポカラへ(20分)。午後、湖畔の街ポカラでゆっくりお過ごしください。※ジョムソン→ポカラ間のフライトが飛ばない場合は、陸路、悪路をポカラへ(約8時間)。 【ポカラ泊】
8	ポカラ カトマンズ	発着 午前→国内線でカトマンズへ(約30分)。 午後、 <b>カトマンズ半日市内観光</b> をお楽しみください。夕食はカトマンズ・ナイトをお楽しみください。 【カトマンズ泊】
9	カトマンズ	発着 <b>バクタプール市内観光</b> 午前、ホテルでゆったりお過ごしください。または <b>オブショナルツアーでヒマラヤ遊覧飛行</b> をお楽しみください。午後、 <b>バクタプール市内観光</b> 。夜、カトマンズ空港へ。深夜→カトマンズ発、アジア経由都市へ。 【機中泊】
10	各地	着 朝、アジア経由都市で→乗り継いで東京・大阪・名古屋へ。午後、東京・大阪・名古屋着。 【機中泊】

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

## 新しくオープンする 辺境地に建つ高級ホテルに宿泊

本コースはカリガンダキ渓谷上部のジョムソンに8月上旬にオープン予定の高級山岳リゾートホテル「ムスタン・マウンテン・ホーム」に宿泊します。このホテルはカリガンダキ渓谷を挟んでニルギリの連峰を仰ぎ見る絶景の場所に建ちます。ホテルの詳細は本紙P.11をご参照ください。



▲ホテルのレストラン

▲お部屋の一例

ネパールの秘境、旧ムスタン王国の都へ

# 四輪駆動車で行く憧れの王都ローマンタン 探訪とジウムソン高級ホテル 10日間

かつては片道5日間のトレッキングで訪れた、かつてのムスタンの王都ローマンタンも近年の道路の延伸を受けて、現在は四輪駆動車でジウムソンから悪路を1日で訪れることができるようになりました。ジウムソンでは新たに8月中旬オープン予定のジウムソンに建つ高級リゾートホテルに宿泊します。



▲アッパームスタン、ギリン村



▲ギリン村のゴンパ

## かつてヒマラヤの「禁断の国」 と呼ばれたムスタンへ

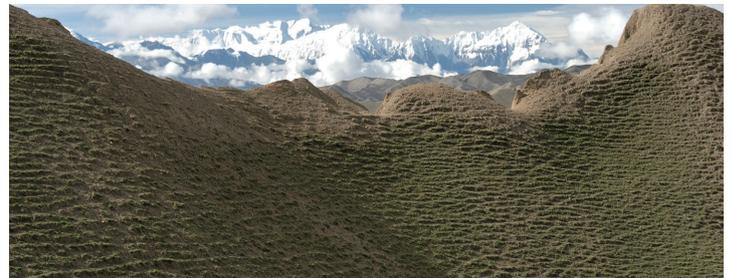
ネパール領内のカリガンダキ川上流にチベットへ少し突き出したようなかたちで位置するムスタンは、かつては独立した小王国でした。1991年まで外国人の入域が禁じられ、2008年までネパール政府により高度な自治権を与えられていた王国のため、外の世界との交流が限られており、そのことから、ある意味、「チベットよりもチベットらしい」という文化が保持されてきました。現代にいたっても、高額な特別許可証とアクセスの悪さもあって、独自に保持されてきた文化が受け継がれていることを垣間見ることができるはずです。



▲旧ムスタン王国の王都ローマンタン



▲城壁に囲まれたローマンタン



▲ローマンタン郊外からのヒマラヤ、左からアンナプルナI峰、ティリツォピーク、ニルギリ北峰



▲ローマンタンへの途上のチオルテン(仏塔)



▲チュサン村周辺の浸食崖



▲カグベニ村からのヤカワカン (左6,482m)

**発着地** 東京・大阪・名古屋

**歩行時間** **宿泊高度** **健康診断** **宿泊施設**

出発日～帰国日	旅行代金
11/22(金)～12/1(日)	¥566,000

●燃油サーチャージ(2019年6月20日現在:目安約18,000円～26,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。

●ビザ=ネパール/申請料(東京7,320円/大阪7,620円)=実費(東京3,000円/大阪3,300円)+申請料4,320円(2019年6月現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。

●ツアーリーダー(添乗員):カトマンズからカトマンズまで同行してご案内します。発着地によってはツアーリーダーが全行程同行します。

●最少催行人数:12人 ●食事:朝8回、昼8回、夕7回

●利用予定ホテル:Aクラス以上。P.11のホテルリストをご参照ください。

●一人部屋利用追加料金:¥78,000(ロッジ泊を含む)

●利用予定航空会社:キャセイパシフィック航空、キャセイドラゴン航空、日本航空、全日空、大韓航空、香港エクスプレス

※トレッキング:現地ガイドが同行。コックは同行しません。  
 ※行動範囲:2,713m～3,950m、最高宿泊地:3,800m、高山病の影響あり。  
 ※「標高3,800m以上の高所に宿泊するコース」のため、当社所定の健康診断を受けていただきます。健康診断にかかる費用はお客様のご負担となります。

※ポカラ～ジョムソン間の路線は、山岳飛行便となります。天候条件や機材その他の現地事情により予定通りに飛ばないことがあります。フライトがキャンセルになった場合には、小型車(分乗になります)やバス(場合によっては一部徒歩)による陸路移動に変更させていただきます。車両は現地事情により地元住民と混載となる場合があります。また、陸路移動に変更になったことによる差額はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	各地 カトマンズ	発着 午前、東京・大阪・名古屋発→アジア経由都市で乗り継ぎ、深夜、ネパールの首都カトマンズ(1,300m)着。 機内【カトマンズ泊 H】
2	カトマンズ ポカラ	発着 午前、→空路、アンナプルナ山群を一望にする湖畔の街ポカラ(800m)へ(約40分)。午後、 <b>ポカラ市内観光</b> 。 朝昼夕【ポカラ泊 H】
3	ポカラ ジョムソン	発着 早朝→山岳飛行定期便にてジョムソン(2,713m)へ(約20分)。→着後、 <b>ティニ村(2,900m)へハイキング。ダウラギリ北峰(8,167m)とニルギリ北峰(7,061m)、ティリツォピーク(7,134m)を間近に仰ぎます</b> (徒歩約3時間)。 朝昼夕【ジョムソン泊 H】
4	ジョムソン ローマンタン	発着 朝、→四輪駆動車に分乗して、一路、悪路を北上し、旧ムスタン王国の王都ローマンタン(3,800m)へ(約10時間)。 朝昼夕【ローマンタン泊 L】
5	ローマンタン 滞在	滞在 午前、→四輪駆動車でさらに北上し、アッパームスタンのチョサル(3,900m)を往復します。午後、 <b>ローマンタンの城郭内の散策や僧院訪問</b> などをお楽しみください。 朝昼夕【ローマンタン泊 L】
6	ローマンタン ジョムソン	発着 朝、→四輪駆動車で往路をジョムソンへと戻ります(約9時間)。 朝昼夕【ジョムソン泊 H】
7	ジョムソン ポカラ	発着 朝→山岳飛行定期便にてポカラへ(20分)。午後、湖畔の街ポカラでゆっくりお過ごしください。※ジョムソン→ポカラ間のフライトが飛ばない場合は、陸路、悪路をポカラへ(約8時間)。 朝昼夕【ポカラ泊 H】
8	ポカラ カトマンズ	発着 午前→国内線でカトマンズへ(約30分)。午後、 <b>カトマンズ半日市内観光</b> をお楽しみください。夕食はカトマンズ・ナイトをお楽しみください。 朝昼夕【カトマンズ泊 H】
9	カトマンズ 滞在	滞在 午前、ホテルでゆったりお過ごしください。または <b>オブショナルツアーでヒマラヤ遊覧飛行</b> をお楽しみください。午後、 <b>パクタール市内観光</b> 。ネパール郷土料理の <b>夕食</b> 後、夜、カトマンズ空港へ。深夜→カトマンズ発、アジア経由都市へ。 朝昼夕【機中泊】
10	各地	着 朝、アジア経由都市着→乗り継いで東京・大阪・名古屋へ。午後、東京・大阪・名古屋着。 機内

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

## ホテルリスト

**ネパール** **カトマンズ**:①/アンナプルナ、エベレスト、ゴカルナ、シャングリラ、ソルティー・クラウンプラザ、ハイアット、ヤク&イエティ、ラディソン、マリオット  
**ポカラ**:②/シャングリラ・ピレッジ、フルヴァリ、ポカラ・グランデ ③/アティティ、ウォーターフロント、カンティプール、テンプルツリー、トレックオテル、バラヒ、フィッシュテール、フェウ・プリンス、レイクサイド・リトリート、マムズガーデン、ダ・ヤトラ・コートヤード、ウォーターフロント  
**ジョムソン**:④/ムスタン・マウンテン・ホーム

# 新しくオープンする 辺境地に建つ高級ホテルに宿泊

本コースは、ムスタン地方の玄関口であるジョムソンに建つ8月中旬オープン予定の高級ホテル「ムスタン・マウンテン・ホーム」に宿泊します。このホテルはジョムソンの街と空港を見下ろす高台に建っていたホテル「ジョムソン・マウンテン・リゾート」の跡地にコンセプトを一から見直し、全面改修の上、部屋数を大幅に減らし、周囲の山岳環境と共存するかたちの新しい山岳高級リゾートホテルとして、作り代えられました。カリガンダキ渓谷を挟んで、すぐ対岸にニルギリの連峰を仰ぎ見る絶好の場所に建ちます。ローマンタンへの往復、ジョムソンでの宿泊は、ネパール随一の高級山岳リゾートホテルで優雅な時をお過ごしください。



▲ジョムソンのホテルの部屋の一例



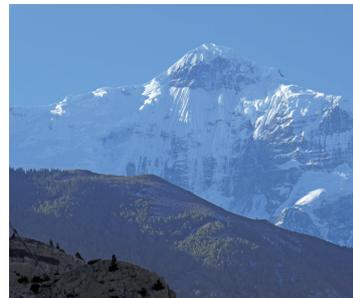
▲ジョムソンのホテル、バスルーム一例



▲ティニ村のハイキング(3日目)



▲ティニ村周辺からのダウラギリ北峰(8,167m)(3日目)



▲カグベニからのニルギリ北峰(7,061m)



▲チョサルの洞窟(5日目)



▲ダンプスから望むマチャブチャレ (6,993m) (Aコース)



▲シャンボチェの丘を歩く、正面奥が世界最高峰エベレスト (8,848m) (Bコース)



▲ムクチナートより望むダウラギリI峰 (8,167m) (Cコース)



▲ローマンタンへの途上の風化したチオルテン(仏塔) (Dコース)

## ●お問い合わせ・お申し込み

旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業490号(第1種)

一般社団法人日本旅行業協会 正会員 旅行業公正取引協議会会員 ボンド保証会員



# ALPINE ツアー サービス 株式会社

e-mail: [info@alpine-tour.com](mailto:info@alpine-tour.com) <http://www.alpine-tour.com>

創業50周年特設ホームページ <http://www.alpine-tour.co.jp>

東京	〒105-0004 東京都港区新橋3-2-5 (第5東洋海事ビル4階)	☎03(3503)1911	FAX 03(3508)2529
大阪	〒550-0003 大阪市西区京町堀1-4-3 (TCF肥後橋ビル2階)	☎06(6444)3033	FAX 06(6444)3032
名古屋	〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-2 (第3千福ビル3階)	☎052(581)3211	FAX 052(561)8338
福岡	〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-2-8 (セントラルビル5階)	☎092(715)1557	FAX 092(715)0826

営業時間のお知らせ / 平日:9:30~18:30、土日祝:定休

総合旅行業務取扱管理者 亀田広明(東京) 大島義広(大阪) 中川元宏(名古屋) 渡部秀樹(福岡)

北海道 / 北海道地区総代理店(株)りんゆう観光 〒060-0909 札幌市東区北9条東2丁目 ☎011(711)7106 FAX 011(731)1456

(受託販売) 観光庁長官登録旅行業第923号 総合旅行業務取扱管理者・植田拓史

※北海道地区総代理店へはフリーコールはございませんので、直接おかけください。

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の取扱責任者にお訊ねください。

山旅専用フリーコール

0120-938-290

ネイチャリングツアー  
専用フリーコール

0120-938-248